

わたしたちの郷土

39巻

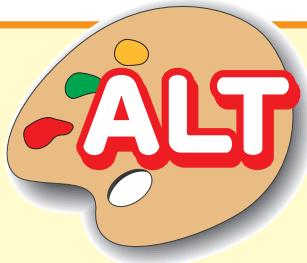
中世の松浦（5）

「文永の役」の後、鎌倉幕府は、次の元軍襲来に備えて九州各地の武士たちを博多湾沿岸に集め、石墨を築かせ交替で警備に当たらせていました。

1279年に南宋を滅ぼして中国全土を統一した元は、弘安4年（1281年）5月に再び大軍をもつて日本を襲いました。元軍は二派に分かれて攻めてきました。先発の東路軍は船約9百隻、兵約4万人で対馬を襲い、壱岐に上陸し、その後に博多に向かいました。日本側は、海岸に築いた石墨によつて元軍の上陸を防ぎ、小船を操つて夜中に敵船を攻撃して元軍を苦しめました。博多への上陸を断念した東路軍は、再び壱岐へ引き返し、後から来る本隊の江南軍と合流しようとしたしました。1か月ほど遅れて来た江南軍は、船約3千5百隻、兵約10万人という大軍でした。五島や平戸を荒らした後、伊万里湾に集結しました。そこに壱岐で待つていた東路軍も加わり、伊万里湾から平戸周辺の海は元軍の船で埋め尽くされてしましました。平戸周辺で南路軍と合流した元軍は、態勢を立て直して大宰府を攻め落とすと博多攻撃の機会を狙つていました。

数日後、鷹島付近に移動していた元軍を突然暴風雨が襲います。元軍の船はその兵とともに、ほとんどが沈没してしまいました。この戦いを「弘安の役」と呼んでいます。

▶元寇に関する資料を展示している鷹島歴史民俗資料館



コラム

ジェシカ先生
(アメリカ出身)

Ninja Park 忍者パーク

長崎県のALTたちと嬉野の肥前夢街道に行きました。天気の良い週末の午後で、波佐見、伊万里、松浦からそれほど遠くないところなのに、ほとんど人がいないのに驚きました。私たちALT（全員20代）は皆忍者の衣装を着て、プラスチックの剣を持って走りまわり、互いを相手に壮大な戦いを行いました。

入場した時は、大道芸人の皆さんに迎えられ、私たちだけのために芸を披露してくれました。また劇場で2人の忍者が出演する忍者ショーを見たり、手裏剣の投げ方や、吹き矢の使い方、弓の引き方を教わったりしました。さらには身のこなし方の練習や、壁を登ったり、ぶら下がったり、持ち上げたりといった「忍者修行」も行いました。

これまで日本で過ごした最高の週末の一つでした。リフレッシュできたり、元気になりました。人は大人になると、もう遊ぶことはできないと感じ、まじめになっていくと思いますが、時には子どものように遊び、思いっきり笑うことは健康にとても良いと思います。私は、子どもたちや子どもの心を持った大人の人に忍者になって遊んでみることをお勧めします。



▲右から3番目がジェシカ先生